

〔7月〕人口の動き

人口	4,178人
世帯数	969世帯
出生	6人
死亡	2人
転入	8人
転出	11人

(7月末住民登録人口より)

広報ひがししらかわ

昭和42年9月1日発行

発行
東白川村 公民館
岐阜縣加茂郡東白川村
TEL(東白川)1番

印刷
今井印刷所



仲よく遊べ

暑い夏の日ざしはかわらないけれど、木陰や家の中を吹きぬける風は、秋の涼しさを運んでくれます。さあ、表で元気に遊びましょう。

知事を囲んでなごやかに

—成果あがった郡婦人のつどい—

「家庭生活や経済生活の問題を検討し、その解決をはかるとともに、県政の具体的なすがたを学習し、婦人としての役割の自覚と、社会連帯意識をたかめる」ことを目的とした昭和四十二年度「加茂郡婦人のつどい」が、さる八月十日、東白川中学校および神土小学校講堂において開催されました。

このつどいは、加茂郡連合婦人会（会長河田うたさん）の主催で一年一回各町村の持ちまわりで開催されているもので、二百五十名の婦人会代表が参加しました。また平野県知事をはじめ村内外の来賓五十余名を招いて、目的にそつための学習や話し合いが活発に行なわれました。

午前にはレクリエーション講習

午後は「知事を囲む婦人のつどい」が中学校ホールで開かれ、知事のあいさつがあつた後、各町村代表の婦人たちから活発な問題点の提供や、意見の発表、それに対するの討議が続けられました。そのなかには次のようなものがありました。

- 県立の婦人、青少年総合センターについて
- 青少年、婦人の指導者の設置について
- 県立総合運動場について
- こども会育成と補助について
- 家庭の日の徹底方策について
- かぎっ子問題の解決方策について
- 隣人愛について
- 農山村青年の定着方策について
- 婦人の地位向上について
- 公立高校の設置について
- 道路整備拡充について

このつどいは、さすがに婦人会の指導者ばかりの集まりで、問題点のつっこみかたもするどく、今後の活動に大いに役立つ成果があがり、盛況のうちに終わりました。

がんばれ!

青年バレー

—いよいよ県大会へ—

きたる九月九日、十日の二日間「第一回岐阜県青年祭」が岐阜市民会館、岐阜県営運動場を中心にはなばなく開催されます。

この青年祭に参加する予選が県下各地で行なわれていますが、加茂郡および中濃地区の予選がさる八月上、中旬富加中学校体育館で行なわれ、本村からも青年男女バレー、卓球が参加しました。

その結果、本村から参加した男子バレーボールチームが、郡、中濃地区大会とも無敗で突っ走り晴れの県大会へ駒を進めることになりました。

けいじばん

■たばこ消費税にご協力を……

たばこ消費税は、村内の小売店で販売されたたばこについてだけ村の収入となります。

たがたびの税率の引きあげてたばこ消費税は村の大きな財源となつてきました。

このたばこ消費税を少しでも村外に逃がさないために

- ① 旅行や出張などで村外に出るときは、必ず村内の小売店で買ったたばこを持参すること
 - ② パチンコ等の景品にたばこを受けとらないこと
- にご協力下さい。

■加茂郡体育大会が終りました

さる、八月十三日、八百津町において「第十一回加茂郡体育大会」が開かれました。私たちの村も、河田村長をはじめ、七十五人の選手団を編成、総合成績四位の好成績をあげました。

本村代表の団体および個人の成績は次のとおりです。

(団体競技)

- ▽青年陸上 三位
- ▽女子バレー 三位
- ▽男子バレー 二位
- ▽剣道 二位
- ▽青年卓球 三位
- ▽教員卓球 三位
- ▽軟式野球 入賞

(これは、準決勝以上が雷雨)



ぎっしりつまつた会場でこやかにあいさつする平野知事

場の拍手をあげました

87歳以上が村に12人

元気に余生を

きたる九月十五日は、昨年からの「敬老の日」として国民の祝日に加えられています。

ことしも「敬老の日」を中心に、全国的にお年寄りの福祉を高める運動や、行事が計画されるところにも、明るく豊かに老後がすごせるような施策や施設ができています。私たちもお年寄りを大切にするとともに、意見や話を聞いて、社会のなかでのお年寄りの役割を見出してやることも必要ではないでしょうか。

村でも、満八十七歳以上のお年寄りが、昨年より一名増えて十二名となりました。みんなで心から祝福し、これからはますます元気な余生を過ごしていただきたいものです。

また、村内の老人クラブ「長寿

会」、「高砂会」、「寿会」も自主的に、研修や奉仕活動、レクリエーションなど

敬老の日

活発な活動を続けられています。

満八十七歳以上の皆さんを紹介いたします。

桂川ふじさん(栃山)

九十二歳

安江かねさん(粕本)

九十二歳

田口い志さん(日向)

九十一歳

安江定右エ門さん(日向)

九十歳

古田みやさん(上親田)

九十歳

高井つまさき(中通)

八十九歳

田口いよさん(大沢)

八十九歳

みなでつくろう
楽しい
老後



田口たまきさん(加舎尾) 八十八歳
菊田とみさん(曲坂) 八十八歳
安江かんさん(陰地) 八十七歳
安江くわさん(神付) 八十七歳
安江真吾さん(日向) 八十七歳
(八月二十日現在)

いつまでも若々しく

村長 河田 勘 市

「敬老の日」。社会的にも、また、人間関係においても何となくいうるわしい日でありましょう。社会が落着き、敬老感謝の気持ちで国民に盛り上がり、強い念願から従来の老人の日に「敬老の日」として国民の祝日に加えられました。九月十五日の「敬老の日」、本当に喜ばしい限りであります。

意欲を高め、生きがいのある生活を送るようにつとめ、これに、国民全部が責任を持ち、家族と社会の協力によって、はじめて老後の福祉があると信じます。私たちは、この意味をよく理解して、常に敬

長い間、社会のために尽くしてこられたお年寄りを敬愛し、その長寿を祝う日として誠に意義が深く、心からお祝い申し上げます。

は生活に自覚と責任を持ち、常に健康の増進につとめ、はりのある希望をもって社会活動にも参加することなのです。

いつまでも若々しく生活向上の
貝原益軒先生は、八十五歳で天寿を全うされましたが、八十余年の体験からその「養生訓」に大いに学ぶところがあります。「養生の術は、まず心気を養うべし養生の道は、病なき時つゝしむにあり」とあります。すなわち養生のとは、気を和らげ、心を平らかにすることにあります。村のお年寄りの皆さん、気を和らげ、心を平らかに、いつまでも若々しくますます健康で、長寿を保たれしあわせな生活を送られますよう心からお祈りいたします。

けいじばん

のため実施できなかったため、上位四チームを入賞としたものです。(個人競技)

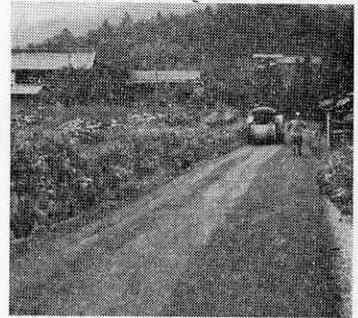
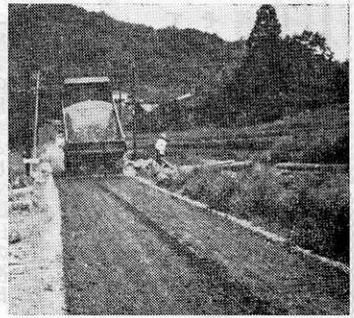
- ▽青年男子五千メートル 優勝 安江 茂
- ▽青年男子一万メートル 三位 安倍 徹
- ▽青年女子砲丸投 二位 伊藤 邦子
- ▽青年男子八百メートル 二位 高井 吉夫
- ▽青年女子二百メートル 三位 安江 房子

この結果、郡体育協会の選考会で選ばれた選手は、きたる、九月二十三日、二十四日、県営グラウンドで行なわれる岐阜県体育大会へ郡代表として参加することになっています。

■あなたの家の文化財を写真に
ことしから来年にかけては明治百年として、全国でいろいろな記念事業が行なわれます。それとともに、その当時の生活を知るための資料が再認識され、保管等についての必要性が出てきていますが、なかには、無造作に放つてあるものや、風雪によって減びてしまうものなどがあります。そういった意味から後世へどうしても伝えることのできない人的資料、保管の不可能なものなど、写真にして保管

住みよい村に

着々すゝむ土木工事



▲「着々すゝむ軽舗装工事」

村のあちこちですゝめられて
る土木工事を紹介します。事業主
体は村あるいは県と違いますが、

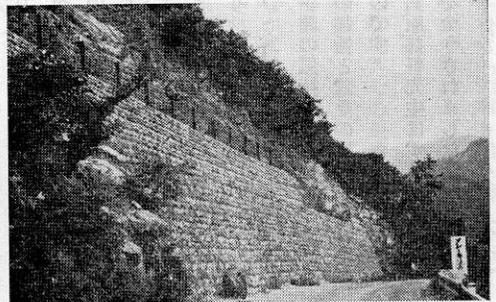
それぞれの地域の整備の目的は同
じで、金のかかる割に目立たない
のが土木工事で、住みよい村にす
るために、いつもどこかでこうい
った工事がすゝめられているので
す。

村道の越原、大明神間が全面
軽舗装されました

長い間の念願だった越原の小谷
大明神間の村道百九十七号線の全
面軽舗装が、このほど完成しまし
た。これは、越原小学校大明神分
校の本校統合にともなう通学道路
の整備、ほこりによる農作物の被
害の絶滅、保健衛生の向上などの
面から、村が総工費三百四十万円
で行なったものです。この工事は
八月いっぱいには完成し、地元はも
ちろん、各方面からの効果が期待
されています。

魔の横引に、落石防止網の工
事が完成しました

豪雨のたびごとに土砂くずれ、
落石等で交通止めとなっていた五
加沢の横引の復旧工事が、前か
らすゝめられていきましたが、この
ほど写真のような落石防止網が完
成し、その工事のほとんどが終り



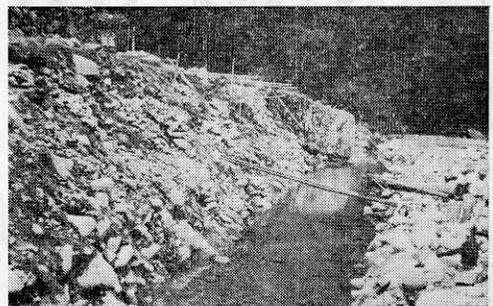
▶「これで安心
完成した落石防止網」

ました。これからは、車はもちろん
ん、通行者も安心して通っていた
だけることでしょう。

平、中河原の河川（護岸）復
旧工事がすすめられています

昭和三十九年の集中豪雨で決壊
のあと、たびかさなる豪雨で危険
な状態になっていた、神土、平の
中河原の護岸工事が、県担ですゝ
められています。この工事の完成
は十月末の予定です。

県道、白川加子母線の東白川
村地内で、側溝工事が行なわ
れました。



▶「急いですゝめられている
中河原河川復旧工事」

道路の決壊をはじめとして、あ
らゆるいたみは、側溝が悪いのが
原因となっています。県では将来
全線の側溝整備を考えていますが
さしあたり村内の三地区において
コンクリートで延長三百四十メー
トルの側溝工事をすすめています
がこのほど全部完成しました。
地区の内訳は、五加柏本地内で
九十メートル、神土大口地内で百
六十メートル、神土平地内で九十
メートルの側溝が整備されたわけ
です。

以上のように、完成した工事も
まだすゝめられている工事、現在
計画されている工事などについて
皆さんの理解と協力を望んでいま
す。

けいじばん

してみたらどうでしょう。お宅
にある古いもの、古い技術、古
い歌（録音します）など、なん
でも結構ですから係まで連絡下
さい。写真機を持ってうかがい
ます。村の文化財的なものをい
ろいろ集めるとともに、皆さん
の保管の役にたてばと思います
■こどもの夏休み後の生活をよ
く観察を

長い夏休みが終わりました。

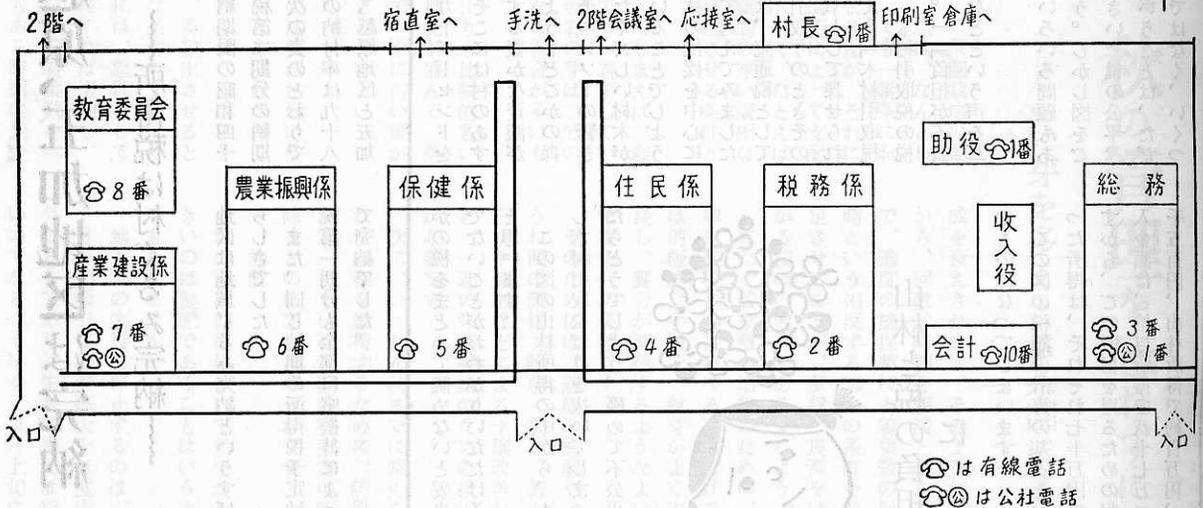
休み明けのお子さんの生活をよ
く観察して、これから始まる二
学期を元気に過ごさせましょ
うまず健康です。おたくのお子
さんは……

- ①元気はつらつとしていますか
あくびをしたり、妙につかれ
たようすはありませんか。
- ②いらいらするようなことはあ
りませんか。すぐ寝つきませ
んか。よく眠りますか。
- ③頭やからだか熱っぽくありま
せんか。だるそうにしていま
せんか。顔色、目の色、皮ふ
の色はかわりませんか。
- ④便通はいかがですか、食欲は
じゆうぶんありますか。

以上のような点をじゆうぶん
注意して、多少でも不安がある
ようでしたら、医者にみせてあ
げて下さい。

次に精神的な面です。

役場内の各係配置図



事務の合理化へ

庁内の配置などかわる

村では、最近とくに複雑になってきた事務等の合理化をはかるため、さる七月一日付けで役場内の一部人事異動を行なうと、もに機構の改革もあわせて行ないました。機構の改革では、いままでの産業係、建設係を新たに農業振興係、産業建設係に編成し、とくに農業関係事務の一本化など、利用される方の便宜を考慮してあります。

また、改革にとまない、庁内各係の配置が図のように変わりましたので参考にして下さい。電話等も事務の能率のうえから、なるべく係の利用して下さい。

各係の主な仕事は次のとおりです。

(総務係)
儀式、ほう賞及び表彰、人事給与、財産管理、予算その他財務、議会、条例等、広告、物品

- 消防及び防災、統計、交通安全、選挙、その他
- (税務係)
村税、国税及び県税、不動産の登記嘱托、固定資産評価、納税貯蓄、その他
- (住民係)
戸籍、住民登録及び外国人登録、印鑑及び身分証明、人口動態、犯罪人名簿、墓地埋火葬、社会福祉及び生活保護、戦争犠牲者援護及びその他厚生援護、保育所業務、災害救助、国民年金、配給、職業、自衛隊
- (保健係)
国民健康保険、保健衛生、住民の健康管理
- (農業振興係)
農業、養蚕、畜産、水産等、産業経済の振興及び改善助長、開拓事業、農業団体の育成、農業構造改善事業、土地改良及び農業土木、海外移住
- (産業建設係)
土木建設、住宅及び建築、林務、商工及び観光、その他
- (教育委員会)
学校教育、社会教育、社会体育、広報、学校安全会、刀剣登録、文化財保護、その他教育に関すること全般

けいじばん

か。やりっぱなしなどのくせはいかがですか。

②きちんと学校へ行っていますか。帰宅時間はいかがですか。

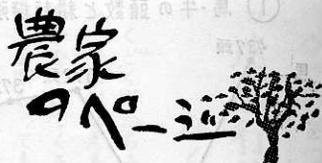
③交友関係に不審な点はありませんか。夜間、呼び出しにくる友人などいませんか。

④お金づかいは変わりませんか。以上のような点に注意してみてください。思い当たるようなことがありましたら、まずお子さんとよく話し合うことです。場合によっては学校の先生と相談する必要もあります。いちばん気をつけたいことは、頭ごなしに叱りつけることです。お子さんが中学生以上の場合とはくに慎重に……

■おいしい天ぶらの作り方
秋風の涼しさをふっと感じる今日このごろ「うまい天ぶら料理でも食べたいなあ」と思いませんか。油独特のコクがあり、かつ、さらっとした、おいしい天ぶらを作りましょう。

まず
一、油の温度は摂氏百八十度、油面からかすかに煙が立つくらいにします。それ以上は油をいためますから油は大事に使いましう。

二、油の量は揚物の厚さの二倍で油面は材料の二倍すなわち油の量が材料の厚さ



秋の管理を忘れずに

よい芽を多くとる茶園に

茶園栽培の要点は、なんとし

ても一番茶におかなくてはなりません、それは前年秋までの園相によって支配される所が大きい、たとえば

栄養のよい、着葉層の厚い園相ならば、よい芽を発達させる条件となります。

春冬期に落葉してしまえば、施肥が同じであっても、着葉しているものに比べて翌春の芽は二分の一以下の芽重になる場合が多いものです。

葉は、古い葉よりも比較的若い葉の方が生理的機能が盛んで、落葉もしにくいので、単に古い葉が多ければ多いほど、よいというわけでもありません。

次に、秋までの摘採面付近の枝数は、芽数にもっとも関係が深く収量をあげるためには、適当な芽重をもった芽を、多数出させるということは必要な条件です。

分枝数を増すには、原則として摘採するとか整枝すれば増加し、一方、摘採や整枝は、着葉数をへらし、少なくともある時期は光合

成を衰えさせます。そのような点から、回数、時期と深淺とからんで、適度の摘採整枝と着葉数の保時という相反する二つの条件を満足させることが、多収、良質をはかる技術の要点であるでしょう。

また、着葉数の増加のために、単に整枝や摘採をゆるめるだけでは消極的な手段で、秋芽がよく生長し、養分が蓄積するようなよい栄養条件が必要です。

そのためには、適期の施肥や、うね間の深耕、除草、敷草、苦土石灰や燐酸などによる土壌改善など、一連の栄養補給のための技術が必要です。

次に、いったん秋までに整えられた園相を維持するために、防寒、あるいは秋期の病虫害の防除などの作業があげられます。

一、施肥
秋の園相回復について効果が大きいのは施肥であることはいまでもありません。

地上部の生長が停止するのは、十月下旬頃で気温が摂氏十五度内外のときであり、生長の期間は短いのであるべく早く、九月上旬に

施すと良いでしょう。秋は窒素とともに燐酸の吸収が多く、また、カリと耐寒性の関係も認められているので使用します。

それらの量は、年間生葉量を千二百キロの場合、窒素十二キロ、燐酸七キロ、カリ十二キロぐらゐとし、細い施肥例については、施肥設計要覽を参考に於て施して下さい。

なお、とくに大切なのは酸度の矯正、微量要素の補給が必要で肥

収穫後の一息 ～9月の稲作管理～

一実肥は適期に

実肥は多収を目的の肥料ではなく、できあがった米の胴張りをよくし、稔実を高めます。穂が五十分八パーセントをうったところ、窒素成分で二キロ以下。たとえばNK化成二号で十キロ以下。実肥によって穂首や枝梗イモチ病の心配されるような稲や、葉色が濃くよく肥料の効いた稲では、部分的に施すのを止めるとか、少量を施した方が効果的です。

料の吸収率が低下しないよう、苦土石灰百二十～百六十キロ程度施して深耕と、ともに土とまぜてのちに秋肥を施します。

深耕は、幼木園は浅く、肥料を土と混ぜる程度とし、四年生以上の茶園からや、深く、成木園では二十～三十センチくらい畦間の中央を耕します。

二、病虫害防除
年間のうちで病気が最も多く、問題となるのは、八月の網もち病

夏の間が健康に丈夫に育つていたり、無病の稲で防除が完全に行なつてあれば実肥を施しても心配はありません。

二水のかけひき(落水期)
このころになると根が腐り、下葉から枯れる水田が多くあります。水をつけすぎると、土中のガスが発生したり、酸素不足によつて根が腐り下葉から栄養不足が起り枯れ上ります。

しかし、開花期と、穂揃期ころ水が不足すると米が細く、大きな米となりません。この二期は水を十分つけます。湿田は、ときどき落水をして水の腐るのを防ぎ、穂が揃つてから二十～二十五日間くらいは、水分八十一～九十パーセント以上を保つことが大切です。完全に水を落す時期は、穂揃期後で湿田では三十日目ころから、乾田では三十五日目ころが良くその後

炭を病の発生です。とくに、品種茶やぶきたは弱いので多発しますので枯れ株の発生する前に銅水和剤の三～四百倍液を百五十リットル以上散布するとよいでしょう。大発生すると冬から春にかけて落葉、枯死し、茶園が全滅する場合もありますので常に、予防散布が大切です。また、八月下旬から、九月下旬にかけて、葉の栄養がおりえ、若葉数がへるため害虫防除がとくに必要になります。

でも晴天が続く場合は、ときどきはしり水を流すようにします。

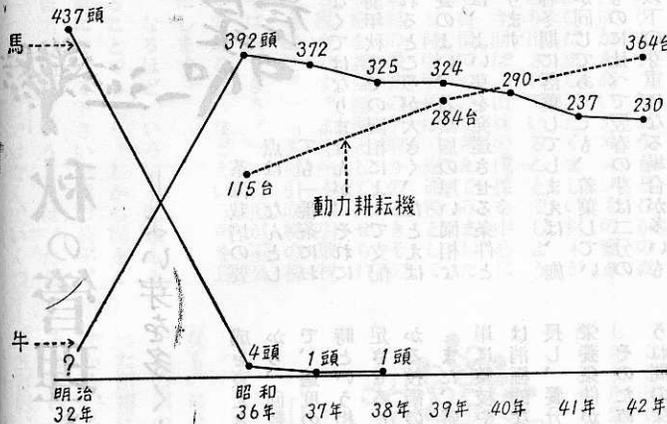
三病虫害防除
穂首、枝梗イモチ病は、必ず予防防除でないと防ぐことはできません。とくにいていねいに、穂が少しれたころ、十アール当り三～四キロ以上散布します。

その後も、台風や、雨降り後には穂が白くなることが多いのでそれ前か、後に必ず散布する必要があります。ウンカの発生も多いので五日おきくらいに水田をよく調べ、早目に防除します。薬剤は、株元によく附着するよう散噴口を下にむけ、むらのないよう平均に四キロ以上は散布します。ウンカイモチ病は同時防除も可能で、ていねいに葉量を十分散布すること

がより効果を高めるコツです。台風時は深水として倒伏をできるだけ防ぎよう注意しましょう。

広報ひがししらかわ

① 馬・牛の頭数と耕耘機所有台数の関連



東京の都心にある小学校の児童が遠足でいなかへ行ったとき、土

特集

グラフでみる農業

NO 4

牛勝って馬負けたお話

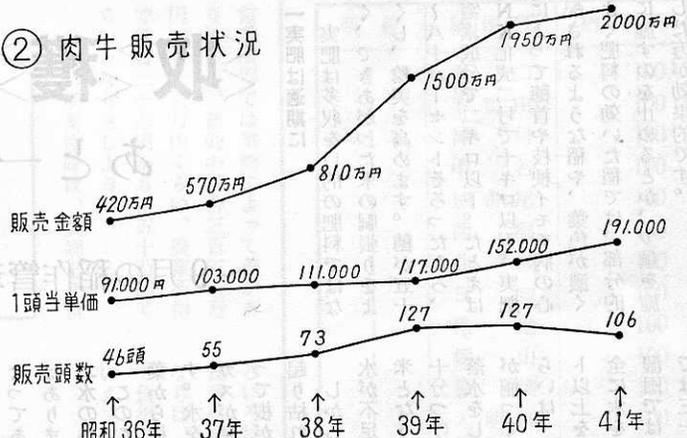
～伸びる和牛飼育～

の上をあるいてびっくりして言ったそうです「先生、土というものはやわらかいんだね」、コンクリートかアスファルトの上の上しかあるいた事の無い不幸な子供たちの話ですが、これと同じような事が私たちの村でもあるかもしれませぬ。それは馬の実物を見たことのないことも私たちのことです。

私たちの村に馬が一頭もいなくなつたのは昭和三十九年からですが、馬が一頭もいなくなつた歴史をたどれば、めまぐるしい社会の変転を感じないわけにはいきませぬ。

第1図のように村で一番多く馬が飼われていたのは明治三十二年です。(村史による) 当時の交通、運搬、耕作の業に馬は欠く事のできないものであったことは言うまでもありません。昭和に入つてからの自動車の普及によつてまず交通運搬の役目を奪われ、耕作の役目も牛に奪われ、わずかに生き永らえていた一頭が、昭和三十九年ついに姿を消したわけです。 さて、馬に代つて耕作の業を受け持った牛は昭和三十六年に毛

② 肉牛販売状況



③ 飼育頭数別戸数

飼育頭数	39年	41年
1頭飼育	50戸	44戸
2 "	19	31
3 "	7	6
4 "	4	4
5 "	—	4
6 "	—	4
7 "	—	2
8 "	—	1
計	80	96

牛が勝って馬が負けたお話でした。 さて、その肉牛の販売は第2図のように昭和三十六年が四十六頭で一頭当り九万一千円であつたものが四十二年は倍以上の十九万一千円となり販売頭数も百頭を越えています。 牛肉は高くてとても庶民の口に入らないという事実を裏付けているわけですが、生産者としては価格の上昇はありがたいことです。 現在は農業のあり方を変えて現金収入を多くあげ、農業だけで生活していける農家、いわゆる「自立経営農家」となることが目標とされていますが、肉牛が一頭二十万近い価格で売れるという事は農家の経営の中心となる資格を十分にそなえているといふことで水稲、養蚕、茶とならんで私たちの村の農業四本の柱と

呼ばれている理由もここにありませぬ。しかしいかに価格が高くて一頭だけではだめで、和牛を中心とした自立経営のためには一定の飼育規模が必要です。第3表はこのような「多頭飼育」を行なっている農家が次第に増加していることを示しています。 このように、和牛の飼育ということが二十数年のあいだに役用から肉用に転換されたことの裏にも馬が一頭もいなくなつたこと、同じような、めまぐるしい社会の変転があり、農業経営といえども、決して社会の流れを無視できないばかりか、社会生活の変化をいち早くとらえて、時代の要求にマッチした経営を心がけることの重要性を覚えてくれます。 三とかく農業は天気まかせ、大自然に左右されるところが大きいので計画的経営はおきなりになり易いものですが、和牛肥育は自然に左右される部分が少なく、技術がそのまゝ、収入になつてあらわれる点特徴でその意味では安定した部門として注目して良いでしょう

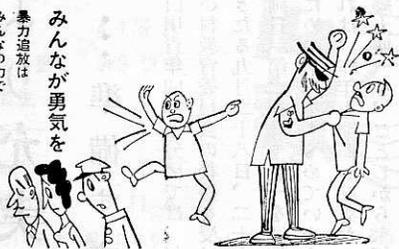
◇けいさつだより◇

〃迷惑行為をなくしよう〃

くどくどからみつく酔っぱらいや、身におぼえもないのに言いがかりをつけてくるチンピラ、断わっても断わっても、無理に売りつけようとする押し売り。そのほか道路や用水路などへ、犬や猫の死体や、ゴミを捨てたり、犬の放し飼いや、街路灯えのいたずらなどと、私たちのまわりには迷惑行為があまりに多すぎます。

ところが、こうした迷惑を受けている大部分の人が「まったく不快だ」などいいながら、「かわりあいになるのがいやだ」と見すごしています。殺人とか放火

みんなが勇気を
暴力追放は
みんなの力で



強盗など大きな犯罪は誰も許しておきませんから、警察へすぐ届けられます。だが、小さな暴力、小さな迷惑行為だから見すごしてはいはずはありません。迷惑行為防止条例とか、軽犯罪法などという条例や法律は、こうした小暴力や迷惑行為を取り締まるためのものです。けっして泣き寝入りする必要はありません。みんなで迷惑行為や小暴力を監視し、そういうものを見かけたら必ず警察へ届けるようにしましょう。そして、みんなが安心して生活のできる平和で

最近の釣りブームはすばらしいものがあります。日曜といえ



ば遠く愛知県、三重県あたりの自家用車が道路のあちこちに置かれ、村の釣人とあわせて清流白川は、ちよっとしたにぎわいを見せます。車窓から見る白川の眺めは、ほんとうにのどかな夏の風物詩として見た人のほとんどが、釣り糸をたれて見たい気持ちさそわれることでしょう

ところが、そのどかさとは

住みよい村をつくるために、どんな小さな迷惑行為でも許さないという社会慣習を作りあげたいものです。

〃性犯罪は女性のスキから〃

季節と犯罪は深い関係をもっています。とりわけ性犯罪はこの傾向が強く、暑いときに多く起きていますが、これは計画的に行なわれるというよりは、女性がなに何らかのスキがあったので、男性が

うらはらに、最近では車のラッシュ、飲食物の空カン空ビンの山など、いわゆる村内外の釣人のマナーが悪くなっているようです。また、鮎の解禁日ともなれば、村の会員はもちろん、村外からどっと押しかけた人で川はいっぱい、再三の注意にもかかわらず道路上への駐車、行ったり来たりする車の騒音、おまけに誰もが殺気だっている、ふだん濃厚な村の人でさえ人間関係が極めて悪いような感じを受けます。一年間首を長くして待った日だから無理はないと思えますが、誰もがもうすこしのんびりとした解禁日にしたい気持は持っていると思います。最近では放流費がかさむ関係から、より多くの外来者を誘致するため、きわめて

突然理性を失なって、いわゆるオカミになる場合が多いので、女性はずねに男性の前では気がゆるませません。それに、最近の世の中の風俗がおもいきつて開放的になり、とりわけこの傾向は女性の服装に強く現われていて、ミニスカートなどもその一例と言えます。性犯罪を受けるのは男性ではなく必ず女性ですから、肌もあらわな服装であまり男性を刺激することとは、被害を自から招くばかりでなく、あなたの品性にもかかわりますからじゅうぶん警戒するようにしましょう。

〃

これは一考を要することかも知れません。私たちの村の川は、私たちでもっと負担を多くして、正味会員たちだけで楽しむか、あるいは、より観光的要素をもちこんで、いわゆる事業としてなりたつように考えるか、はっきりした方がいいのではないのでしょうか。自分たちも楽しみたい、また、外来もできるだけ入れなければならぬ。それはどうしても無理なことかも知れません。

〃路肩に注意を〃

山間部は道路が非常にせまいうえに、路肩がゆるんでいることがあります。このため転落事故が多く危険ですから気をつけて下さい。転落事故のほとんどは、運転者自身の運転未熟や不注意のために起きています。

雨降りなどは落石、土砂くずれなど、くれぐれも注意が必要で

考えからいえば、今の川の費用負担を現在の二倍、三倍にしても、楽に会員が楽しめるのならということになりたつかも知れません。

〃

魚釣りは、単に魚をとることだけが目的ではありません。静かに川との対話が必要なので、だから川は汚したくないものです。そして、恵まれた清流白川を、より効果的に利用するために私たちがマナーを考えると、方法をも考えていかなければならないと思えます。

自分だけのことを考える前にまず、まわりを考え、そのなかから楽しくしていきたいものです。

より充実して開催

…準備すすむ「郷土展」…

東白川青年団神土分団では、村および村教育委員会の後援を受けて、きたる九月二十八日、二十九日の両日「第二回郷土展」を開催するための準備をすゝめていきます

これは、昨年も開催し好評だった「郷土展」を、ことしから来年にかけては明治百年にあたるためその内容も検討し、各部門に分けるとともに充実して開くもので、村内皆さんからの出品、応募につ

いての協力を呼びかけています。

なお、当日は神田神社秋まつり

でもあり、村内皆さんそろっての観覧もあわせて呼びかけています

郷土の民芸品コンクールと即売

郷土に伝わる民芸品なら何でもけっこう、とくに年配の方の自慢の腕をふるって下さい。

▼出品規定

わら細工物(わらじ、みの、い

なわ、わら靴など)

竹細工物(ざる、かご、その他竹、木細工物)

その他(ほりもの、ししゅう、染物、手編ものなど)

▼表彰

優秀作品には賞状、賞品をおくります。

▼即売会も行ないます。

▼出品締切り

九月二十五日

ひかりとくらしの歴史展

昔から現代までの照明器具を出品して下さい。

▼展示品

火打石、燈明台、行燈、ランプ

カンテラ、ちよ

うちゃんなど

おいしい お茶はいかが

茶道といえば抹茶だけかと思ったら大まちがい、立派に「煎茶道」というものがあります。そこで、さる8月20日、煎茶玉泉流の外生を招いて講習会が開かれました。この日は村長さん、議長さんをはじめ婦人会を主に約50名が参席、お弟子さんたちが入れてくれた煎茶や玉露を神妙な顔で味わいましたが、「お菓子はいつたべるのですか?」などという現実的な質問も飛び出しゆかいな一日でした。先生方に白川茶は非常に好評でしたが、参席した皆さん、しびれた足をももぞきさせて、お茶をにごしていたようです。

▼展示品

くわ、かま、こ

ばし、糶すり機

その他あらゆる農機具

郷土のさまざま写真展

村内の景勝、旧跡、行事、名物名産、伝説、観光、産業、人文自然など応募して下さい。

▼出品規定

一枚写真一キヤビネ以上

(一人三点以内)

組写真一手札以上の組合せ

題材自由、作品には題と簡単な説明をつける。

▼表彰

優秀作品には賞状、賞品をおくります。

縮切り

九月二十五日

中学生が集めた 民俗資料

—こんどテレビで紹介—

九月十二日、NHK総合テレビ午後一時五分から十五分間、「わが町わが村」をご覧下さい。「中学生が作った民俗博物館」と題して郡上郡奥明方中学校が紹介されました。同校では、生徒たちが年々少なくなってきた地方の民具を保存したいと、自分たちの手で民俗博物館をつくりました。今では千五百点もあり、それらを紹介されるもので、村の行事の参考になると思いますから、ぜひ忘れないで見て下さい。

文芸

～俳句～



神戸阜川 (正樹)

参る墓

供花に明るし赤土ながら

耳鳴りか

あらずしじまの夜の蟬

作りよしと

鳴く蟬の声に励まされ

仏陀碑へ

形ばかりの野天経

夜振すや

立綱十張打ちこみて

野の末や

夕粧いの合欲の花

大師堂

一燈ほのと蟬時雨



どこか涼しくなつて、頭のほうもどうやらすっきりしたようですが、難かしい数字はごめんだなんていわないで、一度は目をとおして下さい。私たちの村の台所ともいふべきものを、よく知っておきたいものです。

■あなたの撮られたトピック写真を募集します。このページ上段のトピック欄を、ゆかに作って下さい。